

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 第1松風園		
○保護者評価実施期間	令和7年 8月 5日		～ 令和7年 10月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数) 34人
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 17日		～ 令和7年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 25人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	週5日間1日4時間継続して療育を受けることができ、個々に合った食形態での給食の時間があります。また、広い園庭があり、元気にからだを動かすことができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの強みを見つけ強みを生かした支援を取り入れていきます。支援を日々繰り返し受けることで「わかった」「できた」の経験を重ねることができるよう取り組んでいます。 ・集団参加を急がず、職員と1対1で個々のペース、理解、特性などに合わせて取り組むことを大切にしています。 ・食形態は、普通食、一口大、ペースト食、ミキサー食など個々に合わせて提供しています。また、アレルギー対応食(代替食)、偏食対応、個々に合わせた道具の提供も行っています。 	・職員の人財育成(当法人では、職員は財(たから)との考えから財の字を使っています)に力を入れ、支援の質の向上を目指します。
2	担任と専門職員が連携し、こどもの支援とご家族の支援を大切にに取り組んでいます。また、看護師がいることで医療的ケアが必要なこどもも受け入れることができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの支援方針を検討する会議には専門職員も参加し意見を聞き、連携して支援に取り組むようにしています。 ・ご家族のご希望に応じて、専門職員とも面談ができるようにしています。 ・担任がこどもの支援や関わり方に悩んだときには専門職員に相談し助言を受け、支援に生かすようにしています。 	・引き続き、専門職員による内部研修を実施し職員のスキルアップを目指します。
3	講師となり、就学や子育てについてのおはなしをしてくださる卒園児の保護者(先輩お母さんやお父さん)という心強い存在があります。	家族会やグループ相談(おしゃべり相談会)の場面で保護者同士が交流する機会を設けています。また卒園児の保護者(先輩お母さんやお父さん)をゲストにお招きし、広い視野で子育てができる機会も提供しています。	きょうだい児支援に力を入れます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備の老朽化が課題となっています。	各支援室の構造化は、個々の特性に応じて過剰やすく、わかりやすい環境を職員が工夫し整えていますが、設備の老朽化に伴い、環境を整えることが難しい場合があります。	引き続き、安全衛生委員会にて修繕箇所について報告し優先順位を付けて修理を進め、今後も過剰しやすい環境を整えていきたいと思っています。
2	日々の業務に追われていて職員同士が連携を図ったり、新しいこと、改善したいことなどに取り組んだりする時間を捻出することが難しく課題となっています。	限られた時間の中で業務を行うことに課題があるため、効率よく日々の業務が実施できるよう、職員用の1日の予定と時間配分を決めています。その時間を意識して業務を行うよう心掛けていますが、令和7年度は、新規職員が多く、引き継ぎ事項が多く生じたため、決めていた職員用の1日の予定と時間配分が現実と合っていなかったように思います。	職員用の1日の予定と時間配分が現実の業務と合うよう、課題を抽出し、再検討していきたいと思っています。
3	地域が求める児童発達支援センターになることに関して、まだまだ課題がありますが、年々地域に目を向けた取り組みを実践することができています。	第1松風園だけでなく、法人全体で課題を抽出しているところです。	抽出した課題を大和市に確認しながら、引き続き法人全体で一歩ずつ進めて参りたいと思っています。地域の皆様や事業所が、悩んだとき、困ったときに、児童発達支援センターに相談してみようと思っただけのような場所になることを目標に取り組んでいきたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人大和しらかし会 児童発達支援センター第1松風園

公表日 令和 8年 1月 20日

利用児童数 38名 回収数 34

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	7	2	0	①教室が狭いと思います。窓の開閉があるのは、とても良いです。 ②教室でも一人になれるスペースがあるので、メリハリがついて良いと思います。 ③プレイルームは人が多いと、少し狭く感じる。 ④プレイルームは今のままでよいが、プレイルームであそべるスペースがあればもっと良い。 ⑤夏場に園庭が使えなくなる分、運動スペースがPT室だけになり、少し狭く感じる。	①国の基準を満たした広さになっていますが、実際はクラスだけでは狭いため、今後もプレイルーム、PT室、園庭の他、必要に応じて廊下、医務室、面談室、屋内訓練室、屋上なども有効活用し、活動を提供していきたいと思います。窓の開閉については今後も空調や感染症対策のために適切に行っていきたいと思います。 ③時間で各クラスの使用する部屋を分けていますが、どうしても混み合う場面が生じたり、人数だけではなくこどもの特性にも配慮が必要な場面があります。こどもの様子を見ながら職員間で連携し、環境を整えていきたいと思います。 ④こどもたちの興味関心に合わせた取り組みを今後も検討していきたいと思います。 ⑤夏場はとて暑く、園庭や屋上であそぶことができず、例年はプールに入ること体を動かす機会としていますが、今年度は外気温が高すぎたため、ほぼプールに入らず水あそびのみとなりました。このようなことは今までありませんでした。今後は水あそびの方法や屋内訓練室の活用なども検討し、対応していかなければいけないと思っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28	5	1	0	①ゆとりを持って配置して下さっているのので、安心します。 ②細かくよく見て下さっています。 ③いつもではないが、たまに子どもに対して少ないと感じるときがある。 ④適切ではあるが、先生方はとても忙しいそうではある。 ⑤PT、STはもっと多くいるといいかも。いつでも相談ができるのがベスト。	③職員が感染症に罹患するなど当日、急な休みが入った場合は職員が少なくなることもあります。国の基準には達していますが、こどもの人数だけでなくこどもの状況などに応じて職員の不足がある場合は、クラス担当とクラス運営を見直していきたいと思います。 ④療育時間中にクラスでは保護者とゆっくりお話をする時間を取ることが難しい状況もあるため、必要に応じて面談室での面談を実施しています。面談の内容によっては担任の他、園長や専門職が対応できるよう工夫しています。 ⑤専門職によっては相談の対応ができる日が限られてしまい、いつでも相談というベストな形は難しいですが、事前にお伝えいただけると対応ができますので連絡帳なども活用し、是非お申し出ください。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	0	0	0	①先生の支援もあり、とても分かりやすいと思います。 ②話せない子でも分かりやすく見通しがたてられています。 ③おたより帳以外に電子でやり取りできるようになると嬉しい。	②引き続き、こどもの強みや特性、理解に応じた視覚支援の取り入れや空間の利用、場所での何をするのが明確になるような取り組みなどを行い、こどもの「わかる」「できる」を大切にしていきたいと思います。 ③現在は、保護者とは連絡帳、電話、親子通園日や面談での直接のやり取りなどがメインになっています。電子でのやり取りについては、他事業所での取り組みも参考に、保護者のニーズや時代に合わせたものを取り入れることができるかを検討していきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32	2	0	0	①おトイレも、どのお部屋もきれいだと思います。 ②机や床がヨダレ？か、水がついていたりするので、除菌シートなどが各部屋のわかりやすい所にあると嬉しい。後、ゴミ箱も。 ③全体的に古いのでもう少し新しい物を取り入れたら、もっと良いと思います。	②各部屋に消毒とペーパーを用意してあります。消毒はこどもが口に入れても大丈夫なものを用意し、玩具の消毒も同じものを使用しています。ゴミ箱については、いちご組は部屋が広いのでクラス内にありますが、他クラスはプットインの好きなこどもが間違えてゴミ箱に入れることや、ゴミ箱に入ったものをこどもが出すことを防止するために廊下に設置しています。消毒で使ったペーパーゴミは、消毒の近くに設置しているビニール袋や職員が持っているビニール袋に入れていきます。 ③新しいものの取り入れについては、必要に応じて職員間で検討しています。設備については古く、ご不便をおかけしております。大和市の建物なので建て替えやリフォームについては、保護者からご意見がある度に伝えさせていただいています。今後も安全面で改善した方が良い点については月1回の安全衛生委員会で取り上げ、対応していきます。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	2	0	0	<p>①十分に理解してくれていて、説明もあり、納得できる支援内容で感心します。</p> <p>②子どもに合ったやり方を色々ためしてくださって、本人も過ごしやすそうです。</p> <p>③視覚支援や具体物以外にも、子どもに合わせて予定表などを作成してくれたりしている。</p> <p>④現状より一歩進んだ個別の取り組みをしてほしい。</p>	<p>①②③ありがとうございます。引き続き保護者とともに、こどもの成長に向けて支援や配慮をしていきたいと思えます。</p> <p>④現状より一歩進んだ取り組みをした方がよいときと、現状をくり返し取り組んだ方がよいとき、また、現状より少し手前の確実にできることを負担なく取り組んだ方がよいときなど、こどもの状況によってさまざまです。是非、なぜ今の取り組みをしているのかを、親子通園日などで担任に確認してみてください。また、保護者の要望も是非伝えてみてください。</p>
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	2	0	1	<p>①HPで見たとおりだと思います。</p> <p>②おおよそ合っていて、適時適切に変化していると思う。</p>	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	2	0	0	<p>①こどものことをよく見てわかってくださっている計画内容です。</p> <p>②集団行動の準備、他者と同じことをする意識を向けるなどの練習ができると嬉しいです。</p> <p>③保護者のニーズをよく聞き取ってくれるが、客観的かどうかはわからない。</p>	<p>①こども（本人）中心の個別支援計画になります。日頃からこどもの様子をよく見させていただき、「できること」「できないこと」「できそうなこと」の中から「できそうなこと」に注目し、目標にするよう心掛けています。具体的な支援内容には、こどもが「わかった」「できた」「楽しい」を感じながら目標達成に向けたスモールステップで取り組むことができるよう記載しています。</p> <p>②集団行動の準備や他者と同じことをする意識を向けるなどの練習についても、必要なスキルですので、こどものペースに合わせてできそうなところからスモールステップで取り組んでいます。例えば、一人で安定して過ごすことや、人から教わる姿勢を身につける、先生と同じようにやってみようなどがそれらにあたると思います。</p> <p>③個別支援計画は、保護者からの事前アンケートや担任、専門職員の見立てをもとに客観的に分析し作成しています。こどもを理解するためには、保護者との情報共有がとても大切になります。いつもアンケートの記入や面談参加などのご協力をありがとうございます。</p>
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	2	0	0	<p>①その時の子どもの状態に合わせて、計画に沿った支援をしていただいています。</p> <p>②具体的に設定され、支援されています。</p> <p>③支援計画を忘れてしまうので、連絡帳にはさんでであると、すぐに見れるので、そういうのがあると良いと思う。</p>	<p>①②今後も保護者の願いや、こどもの現状を丁寧に聞き取らせていただき、支援計画を作成していきます。ガイドラインについては、保護者が昼食をとる研修室に掲示していますので、ご自由にご覧ください。</p> <p>③連絡帳は毎日確認するものですので、そこに確認できるものがあるとわかりやすいと思います。検討してみます。</p>
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	0	0	1	<p>①毎日楽しく過ごさせていただき、ありがたいです。</p> <p>②支援計画を覚えていないかもしれない。</p>	<p>②保護者より連絡帳にて個別支援計画の確認ができるとすぐに見られるので良いと思うとの意見をいただいたので、検討してみます。</p>
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	3	0	0	<p>①毎週、いろいろな活動をしていて、本人も楽しんでいるようです。</p> <p>②家では経験できないプログラムがたくさんあり、ありがたいです。</p> <p>③とても工夫されていると思うが、毎日なのでルーティン化されがちに感じる。</p>	<p>③活動は固定化しないよう工夫していますが、新しい活動に挑戦する日もあれば、あえて同じ活動を繰り返し行い、定着を目指している日もあります。経験を重ねることが大切なこどもにとって、どちらにもねらいがあり、どちらも必要な活動となります。今後もねらいを持ってさまざまな活動を提供していきたいと思えます。</p>	

11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	31	3	0	0	<p>①十分だと思う。</p> <p>②たまに保育園との交流やおまつりなど、十分あると感じます。</p> <p>③回数が少ないので、母子日で希望者は半日体験などがあると嬉しい。無理のない範囲で。</p> <p>④別の園に行くのは全員が対象でないため、一応「どちらともいえない」に〇をした。</p>	<p>①令和2年度からコロナ禍のため中止となっていましたが、令和5年度後期より、近隣保育園との交流を再開することができ、近隣保育園には大変感謝しています。現在でもインフルエンザなどの感染症で中止になることもあります。今後もお互いの園の感染症の確認を行い、安心して参加できるようにしていきたいと思っています。</p> <p>③保育園への移行を視野にしているお子さんは、半日体験の必要性がある場合には、改めて保育園に無理のない範囲でのご協力をお願いしてみようと思います。</p> <p>④保育園に行って過ごす交流については希望者が対象のため、全員が交流できるよう松風園の園庭にあそびに来ていただく交流も行っています。</p>
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	1	<p>①詳しく教えてもらいました。</p> <p>②とてもわかりやすく説明してもらえた。</p>	<p>①契約の際に説明していますが、より明確にお伝えできるよう、家族会に都度利用者負担になるものについては説明していくよう心掛けています。</p>
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	0	0	1	<p>①とてもわかりやすく説明してもらえた。</p> <p>②いつも丁寧にわかりやすく説明してもらっています。</p>	<p>①引き続き、ゆっくり、しっかり、丁寧に心を掛けて行っていきます。よろしくお願いたします。</p>
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	2	0	1	<p>①具体的なプログラムだけでなく、日頃の親への柔軟なご対応がとてもありがたく、心の余裕につながります。</p> <p>②親子通園のときに、先生と話しやすい環境でありたいです。</p> <p>③色々なお話し会や講演会などのお知らせがあります。</p> <p>④オンラインで受けられるのもあり、受講しやすい。</p> <p>⑤療育講座はあるが、園でDVDなどで見たいときにレンタルできたりすると、もっと見やすくなって助かる。</p>	<p>③以前の自閉症療育講座は、当日の対面での講座のみでしたが、コロナ禍をきっかけに、オンライン配信になりました。また、当日参加が難しいとの声があり、見逃し配信を行うようになりました。現在はそこまでですが、より保護者が見やすくなるよう今後もご意見を伺い、検討していきたいと思っています。</p>
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	33	1	0	0	<p>①親子通園、連絡帳、TELなどで常に伝えられる環境です。</p> <p>②連絡帳に毎日たくさん書かれていて、見るのが楽しい。</p> <p>③少しのケガでも看護師さんがみてくださいます。連絡帳もくわしく書いてあって、発達状況もわかります。</p>	
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	2	0	0	<p>①個人面談や家庭訪問など多くあり、親子通園日でも相談できます。</p> <p>②週1の親子登園があるので、相談しやすい。</p> <p>③面談はきちんと行われているが、子どもの相談をした際、助言が無い場合がある。</p>	<p>③助言がないときは、傾聴に努めている場合や、職員のスキルアップが必要な場合があると思います。保護者といっしょに考えていけるように、今後も職員のスキルアップを目指すとともに、担任の他、看護師や専門職員、児童発達支援管理責任者(園長)がチームとなり考えることができるのが第1松風園なので、この強みを生かして相談を受けていきたいと思っています。</p>
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1	0	0	<p>①親身になって聞いてもらえるので、心強いです。</p> <p>②いつもあたたかい配慮をいただいています。</p> <p>③子どもの特性や困ったことに対して、先生が子や親に対して、思いやりのある対応をしてくれています。</p> <p>④できたことに対して「できました」と明るく教えてくれています。</p> <p>⑤できたときなど、一緒に喜んでくれる。</p> <p>⑥家で困っていることを園でもしたりしているときには、わりと支援してもらいやすい、と感じる。</p>	

護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30	1	0	3	①親子会やお話し会などの交流の場があり、支援されると感じます。 ②きょうだいへの支援があり、感謝しています。今後も続けてほしいです。 ③年1回なので、参加できないとなかなか交流する機会がないので、園庭開放の時間が増えたりするとありがたい。	①親の会はお忙しい中、そよげ会の役員の方が中心になり開催していただいております。感謝しています。 園としては月1回の家族会、年2回のクラスごとの懇談会の他、卒園児の保護者(先輩お母さんやお父さん)をゲストにお招きした会などを実施し、広い視野で子育てができるよう取り組んでいます。コロナ禍に保護者が孤立しないようにと取り組み始めたおしゃべり相談会については、徐々に回数を減らし、現在は年1回保護者同士の交流のきっかけづくりとして実施しています。 ②きょうだい向けのイベントを年1回開催しています。その他、きょうだい児が利用児や保護者と一っしょに参加できる行事として、あそぼう会、映画鑑賞会(大和中ロータリークラブ様主催)、松風園まつり、卒園式などがあります。 ③園庭開放やPT室開放は、毎週土曜日午前中に実施しています。自由参加ではありますが、きょうだいのいる保護者同士が、計画をして利用されると交流の場になると思います。きょうだいへのイベントが年1回のため、他にきょうだいへの支援をする方法を検討してみたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	1	0	2	①とても対応が早いと思う。 ②親子通園日、連絡帳、電話などで相談でき、対応してもらっています。 ③いつも丁寧に対応してください。	①②③今後も相談を受け入れられる体制を整えていきます。担任の他、看護師や専門職員、児童発達支援管理責任者(園長)など、幅広く対応することができそうですので、引き続きご相談いただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	0	0	1	①常に意思が伝えられる環境だと思っています。 ②基本連絡帳や通園日などでやりとりできています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31	1	0	2	①されていると思います。 ②月ごとに園だよりもあり、発信されています。 ③家族会ではいろいろな情報をもらえていると思う。 ④活動の様子(水あそび、プールの様子など)の写真を園に行ったときに見られるアルバムなどがあると嬉しい。	①②ホームページには、行事の写真などを『成長のあしあと』として掲載しています。また『会報しらかし』『園だより』『自己評価表の結果』『第三者評価の結果』も掲載していますので、ぜひご覧ください。 ③写真については、いつも保護者のご要望にお答えできない現状にあり、申し訳ありません。個人情報の問題の前に、職員の手が足りずに写真が撮れるクラスと、撮れないクラスがあることが現状です。写真に対する保護者の声は大切にしていきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	0	0	2	①されています。 ②どのように扱われているかが、よくわかっていないかもしれない。	②個人情報の取り扱いについては、契約時や通園のおしりの説明時にお伝えしています。また、ホームページに写真を掲載することについての同意書を取り、個人が特定できないように工夫しています。行事の際には、保護者同士で互いが写りあってよいか確認していただき、撮った写真はSNSにはあけず個人で楽しむよう周知しています。今後も十分配慮し、取り組んでいきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1	0	2	①マニュアルもありますが、家族会などでもお話があります。 ②バスのお迎え時の首からかけるカードなど、防止になっていると思います。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	1	0	1	①されていると思います。 ②消火訓練に参加してもらいました。	①②支援中に放送を流し、定期的な避難訓練を実施しています。また親子通園の保護者には、消火訓練にも参加をお願ひし、ご協力いただいております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	0	0	1	①危ない物にはカバーがかかっていたり、とても良く安全が守られていると思う。 ②危ない所はガムテープでかくしてあったり、十分にされていると思う。	

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1	0	1	①小さなケガにも細かな説明をしてもらえるので、安心しています。アドバイスなどももらえて、ありがとうございます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32	2	0	0	①我が子が先生方に甘える姿をよく拝見しています。 ②あまり人馴れできないタイプの子だけれど、先生によく甘えている。 ③不安そうにしていることはないように見えます。	①②③今後も、こどもの特性を理解し、必要な支援を取り入れ、安心感を持って通園できるように努めていきたいと思えます。引き続き、保護者のご協力もよろしくお願いいたします。いつもありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	1	0	1	①早く慣れ、半年経った今でも楽しそうに通園している。 ②たまに行き渋ることもありますが、二コニコで帰ってきます。 ③毎日、楽しく登園しています。 ④毎日、楽しく大好きで帰宅した後も、明日も行くと言っています。 ⑤朝バスに乗るときにくずる。→登園すると機嫌が良いので、母子分離がもう少し時間がかかるようです。 ⑥自宅でも休みの日でも、先生やクラスのお友だちの名前を言ったり、「松風園に行くよ」と言っています。 ⑦いろいろな活動があり、楽しく通っています。いつもありがとうございます。 ⑧ことばは話せないのですが、楽しそうにバスに乗って行きます。	①～⑧これからも、こども一人ひとりの発達のペースを大切に、こどもたち楽しく通園していただけるよう、支援内容や環境を整えていきたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	0	0	0	①入園して約半年ですが、すごく成長を感じています。いつもありがとうございます。 ②とても満足している。 ③できることがたくさん増え、意思疎通ができるようになり、とても満足、感謝です。 ④いつもありがとうございます。 ⑤とても満足しています。ずっとかわりがあるといいのに、と思っています。 ⑥いつもたくさん助けていただいて、感謝します。 ⑦園庭開放、日曜もあると嬉しいです。	①～⑥こどもの健やかな成長を支えるためには、保護者との協働は不可欠だと考えています。親子通園をとおして、こどもの行動の背景をともに考え、こどもに合った支援を実施していく場として、貴重な時間を保護者といっしょに過ごさせていただいています。保護者には、こどもが成長や発達をしていく姿に、子育ての手応えを感じていただけるように、またこどもには「わかった」「できた」「楽しい」を感じていただけるように、今後も職員一同、保護者とともに支援に取り組んでいきたいと思えます。 ⑦園庭開放については、日曜日や祝日は休園のため実施は難しいです。ご期待に添えず申し訳ありません。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 社会福祉法人大和しらかし会 児童発達支援センター第1松風園

公表日 令和 8年 1月 20日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	9	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスはあそびのスペースと活動のスペースを仕切っています。 ・パーティションを使用して、構造化した環境づくりに努め、活動への取り組みやすさや、お子さんに応じた過ごしやすいスペースを確保しています。 ・クラスの人数を半分ずつくらいにして、教室以外の共有スペース(プレイルーム、PT室など)で過ごせるようにしています。共有スペースは大人数にならない様、クラスごと時間で分けて決められた時間で利用することをルールとし適切なスペースを保てるようにしています。 ・親子通園日で来園される保護者の人数によっては適切なスペースの確保が難しくなることがあるため、親子通園日が重ならないよう配慮しています。 ・思い切り体を動かすことのできる広い園庭があります。天気の良い日は園庭であそぶ時間を確保するよう心掛けています。 ・多様な活動が実施できるよう、屋内訓練室や廊下、屋上などを活用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な療育環境が維持できるよう、現在の工夫を今後も継続していきます。 ・人数を調整していてもプレイルームが狭く感じる場合があります。個々のスペースが確保ができるように工夫はしていますが課題があります。 ・プレイルームはフリーの職員が担当することが多いため、人数が多くなり混雑しはじめると担任に相談して人数調整をしています。引き続き、フリーと担任の連携が円滑にできるよう、日頃からコミュニケーションを図る機会を設けていきたいと思っています。バス添乗などもあり時間の確保に課題がありますが取り組んでいきたいと思っています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの状況(こどもの出席人数や特性、支援内容、活動など)に応じて担任の他にフリーの職員を配置できるよう人員体制を整えています。 ・プレイルームやPT室などの自由あそびの場面では職員1人につきこども3人までの把握を基本としていますが、こどもの状況により、把握することの人数を減らしたり、職員を増員したりするなど柔軟に対応できるようにしています。 ・毎朝、クラス毎にこどもと職員の動きについてシミュレーションしています。 ・専門職員を配置することで、より専門的な支援を実施することができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の数だけでなく、質の向上も大切になります。引き続き、職員研修などを実施しスキルアップに努めていきたいと思っています。 ・職員1人につきこども3人までの把握を基本としていますが、こどもの組み合わせやトイレの介助などにより対応が難しいときがあります。一人に対処せずにクラスにいる職員と連携したり、ヘルプを出したりして安全に対応していけるよう、今後も職員間で周知していきたいと思っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	18	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化は見られるが、各支援室の構造化は職員が工夫しながら行っています。 ・動線がスムーズで、かつ、こどもの目の高さのみ情報がいくように構造化しています。 ・こどもにわかりやすくスケジュールや玩具の要求カードなどを配置しています。 ・安全のためにこどもの手の届かないところに鍵をつけたり、鍵が見えないようにカバーをつけたりして工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫しながら生活はしていますが、設備の老朽化などで設定が難しいことがあります。引き続き、安全衛生委員会にて修繕箇所について報告し優先順位を付けて修理を進め、今後も過ごしやすい環境を整えていきたいと思っています。 ・段差があるクラスがあり、園全体を見てもバリアフリー化については課題があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	15	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスで部屋の作り方をこどもたちにあわせて行い、心地よく過ごせる環境を心掛けています。 ・療育中でも、都度清潔さを保つために消毒や雑巾、吸水シーツなどを手の届くところに配置しています。 ・定期的にカーペット清掃、床面清掃など業者の清掃が入ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫はしていますが設備の老朽化に伴い、環境を整えることが難しく、また時代に合っていない部分もありますが、引き続き設備上の課題については安全衛生委員会にて共有し対応していきたいと思っています。 ・掃除が行き届いていない部分が見られることもあるため、気を付けていきたいと思っています。

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21	4	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体でお子さんの状況を共有し合い、協力して部屋や場所を使用しています。 ・こどもの特性に応じて、1対1で落ち着いて過ごすことができるよう周囲と連携をとりスペースを設けることができています。 ・職員と1対1で個別に課題に取り組むときには部屋の人数の調整をし、静かな環境で集中して取り組めるよう配慮しています。 ・個別の部屋を使用することは難しいですが、パーティションで区切ることで個別の空間を作るようにしています。 ・特性や状況により、1人になる必要がある場合、別行動をし静かな環境を提供できるよう配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も限られたスペースではありますが、職員同士で声を掛け合い、こどもにとって必要なスペースを確保していきたいと思えます。引き続きクールダウンなどで個別の部屋が必要な場合に医務室などを使用することができるよう整えていきたいと思えます。 ・研修室や面談室の一部が荷物置き場になってしまっている現状があるため改善していきたいと思えます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	20	5	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事や通園のしおりの作成などに、広く職員が参画しています。参画できなかった職員にも内容が伝わるよう、記録や報告書などを回覧し共有しています。 ・行事の後は職員にも保護者にも用紙を配布し、書かれた反省や感想を職員間で共有し改善点を見出し、次の企画へと生かしています。 ・テーマを決めてブレインストーミングを行う機会を設けています。 ・安全衛生委員会を月1回開催しています。修繕箇所などについては職員会議などで職員に確認をしています。 ・こどもの支援については年3回支援方針検討会議を実施し、計画を見通しています。 ・業務改善内容に優先順位をつけ職員で話し合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな業務改善に向けての取り組みを進めていくために、引き続き職員の参画意識の向上に取り組みます。 ・時間が限られているフリーの職員(非常勤)が参画していくことに課題がありますが、担任のみだと意見の偏りもあると思うので改善していきたい。 ・業務量が多く、業務改善に時間を費やすことが難しい面もあり課題になってしまいましたが、職員間で役割分担をし、職員会議を有効に使うこと、話し合いの時間を短時間にするなど工夫をすることにより改善できることも多くありました。引き続き職員それぞれが役割を担い、時間の使い方を工夫し、改善に向けて努力していきたいと思えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回保護者等向け評価表を実施する他、第三者評価を3年に1回実施し、保護者のご意見を聞いています。いただいたご意見は全職員で共有し業務改善に努めています。また、保護者等からの事業所評価の集計結果や第三者評価の結果はホームページで公表しています。 ・親の会(そよかぜ会)より年1回感想や要望を集約していただいています。要望については書面で回答しています。対応できない案件については、ご理解が得られるよう丁寧な説明を心掛けています。また月1回家族会を実施し、直接ご家族の意見を聞くことができる場を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親の会(そよかぜ会)よりいただいた要望についての書面で回答が遅くなってしまっているのが課題です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	10	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に職員の意見を聞く機会を設けています。 ・会議では少人数で活発な意見が出るよう工夫しています。 ・より多くの意見や個々の思いを引き出したときには、用紙を配布し記載する形式にしています。 ・大きな業務改善に関しては年度単位で行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換をする場はありますが、日々の業務に追われていて、改善までに時間を要することが課題です。改善をする担当者が決まっていなくても要因のひとつだと考えていますので、今後は業務改善までの仕組みづくりにも取り組んでいきたいと思えます。 ・フリーの職員(非常勤)も含めた意見交換をする場の確保が課題となっています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を平成23年度より3年に1回実施しています。結果については、ホームページで公表しています。 	

10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	3	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加できるよう企画しています。知識を得ることの他、他事業所の職員や取り組みに触れることが視野の広がりや自身を見直すことに繋がっています。研修後は研修報告書を記入し報告会にて発表し、職員への周知を図っています。 ・職員全体が同じ学びを実践できるよう内部研修を実施しています。 ・自主研修の費用を負担する制度があります。(上限あり) ・職員のスキルアップのために階層別研修に参加する機会を設けています。 ・主催する自閉症療育講座や地域生活支援講座へ参加する機会を提供しています。 ・eラーニングを取り入れています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加の際、その分の職員の確保が課題となります。引き続きフリーの職員を配置し安心して研修に参加できるよう人員配置を整え対応していきたいと思いますが、一方でフリーの職員の学ぶ機会の確保が課題となっています。 ・職員のスキルアップのためにeラーニングを取り入れましたが、引き続き十分に活用できていないことが課題となっています。研修計画は立てましたが、実際は時間の確保が難しく、まだまだ活用の仕方に課題があります。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者も新しい職員も、どんな支援をしているのかわかるように記載しています。 ・ホームページにて公表しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にも新しい職員にも、どんな支援をしているのかわかるように記載したことから、文字の多い支援プログラムとなってしまう。いずれはイラストなどを活用したわかりやすいものを作成していきたいと思います。
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの日々の様子を観察し、発達検査の結果も参考にしています。 ・親子通園日に保護者と情報共有をしたり、アンケートを保護者に記入していただいたりすることで、ニーズや課題を共有し作成しています。 ・担任、専門職員の見立てをもとに客観的に分析し作成しています。 	
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのアンケートやクラス会議、支援方針検討会議をもとに支援計画を作成しています。 ・支援方針検討会議には、児童発達支援管理責任者、担任、PT、OT、看護師が参加しています。 	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	4	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を定期的に確認し、具体的な支援方法を共有しています。 	
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士による発達検査を定期的に実施しています。 ・日々の行動観察の様子をPCで記録しています。 ・専門職との振り返りを実施し確認をしています。 	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての項目を個別支援計画に落とし込み、具体的な支援内容を設定しています。 	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を定める会議を月に1回月案会議として実施しています。 ・各クラスで話し合いながら活動プログラムを立案しています。 ・PT、OTがクラスに入るときには担任と内容を考えています。 ・朝バスの添乗の担当になった日は朝の打ち合わせができないことがあるため、できるだけ事前に話し合うよう心掛けています。 	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月案会議を月に1回必ず実施し、他クラスとも話し合いながら固定化しないようにしています。 ・日々、バランスが取れるよう、身体的なもの、作業的なものなどを取り入れて活動プログラムを決めています。 ・季節に応じた活動を取り入れるなど工夫をしています。 ・成長した面を生かせるように活動が計画されています。 ・専門職とも相談しながら決めています。 ・あえて活動プログラムを固定化し、同じ活動を繰り返し行い、定着を目指すものもあります。経験することが大切なこととして『新しく取り組む活動』『繰り返し取り組む活動』どちらにもねらいを持って取り組んでいます。 ・他機関の情報交換会に積極的に参加し、情報収集をしています。 ・研修などでの学びを実践しています。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達状況に応じた課題や具体的な取り組みを個別活動と集団活動をとおして行えるように作成しています。 ・週2回1対1学習で個別活動に取り組むことや、設定活動(集団活動)で取り組むことをそれぞれ計画し、支援しています。 ・こどもの様子に合わせて個別や2~4名程度の集団で活動を行っています。 ・集団参加は急がず個々のペースで取り組めるよう工夫しています。 ・成長に応じて組み立てるようにしています。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、職員で打ち合わせを実施し、その日の予定や出欠席の確認、必要事項の確認を行っています。 ・バス添乗や出勤時間の関係で打ち合わせに出られない職員には同じクラスの職員が伝えたり、打ち合わせノートを確認したりできるようにしています。 ・フリーの職員は打ち合わせノートの他に伝達ボードで必要事項(1日の動き、活動、バス添乗の有無、連絡事項など)を伝達しています。 ・クラス運営については、主にリーダー、サブ、雑の3つの役割分担をし、支援の確認を実施しています。 ・当日の朝、担任間でその日の活動内容や動きなどを打ち合わせています。 ・朝、バス添乗で支援前に打ち合わせができないときにはホワイトボードに1日の流れや配置、目的、役割などを記入し、共有しています。 ・専門職が関わるお子さんについて打ち合わせをして、支援の確認をしています。 	・限りある時間の中で効率よく日々の業務が実施できるよう、職員用の1日の予定と時間配分を決め伝えています。その時間を意識して業務を行うよう心掛けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	5	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で意識し合い、支援の振り返りや気づきを伝え合っています。 ・バスの添乗があり、担任全員揃うことは難しいですが話し合った内容を伝えています。 ・記録をつけながらその日の振り返りを行っています。 ・フリーの職員は勤務時間やバス添乗の関係で支援の振り返りをするのがなかなか取れないため、自ら能動的に共有するよう心掛けています。 	・バス添乗、会議、研修などが日々の支援後にあるため、担任が全員そろって振り返りの時間を設けることが難しく課題になっています。今年度は新しい職員が担任を担うことが多かったため、フリーの職員が多めにバス添乗をし、例年よりも多く担任同士が打ち合わせをする時間を確保することができました。

22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間で効率よく日々の業務が実施できるよう、記録時間を設定し実施しています。 ・記録内容は支援計画の実施状況を記号で記入し、特記は事実を端的に記入するよう工夫しています。 ・法人内で共通の記録プログラムを用いて、日々支援の検証、改善に努めています。 ・毎日記録をし、個々の様子に合わせて検証し、こどもが落ち着いて過ごせる時間を作るよう改善につなげています。 ・時間を有効に使うことができるよう、記録を入力するときにクラス内で振り返りを行うよう心掛けています。 	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々モニタリングの視点で一人ひとりに合った適切な支援を心掛けています。 ・定期的に(年3回)支援方針検討会議を実施しています。 	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者を中心に、担任、専門職が参画しています。 ・医療的ケア児については看護師も参画するようにしています。 	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者や担任が窓口となり、行政、教育委員会、学校、保育園、幼稚園などと連携をしています。 ・医療については、主に看護師や理学療法士が窓口となり連携をしています。 ・相談支援事業所とも連携をしています。 ・必要に応じてケアカンファレンスを行っています。 	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	3	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルージョン推進を意識し、地域の保育園2園にご協力いただき、定期的に交流保育を行っています。こちらからあそびに行かせていただいたり、園庭にあそびに来てくださったりしています。 ・併行利用児については、必要に応じて所属している保育所等の職員が来園したり、こちらから訪問したりして、生活の様子を確認し、課題解決に向けた話し合いをしています。また、支援内容などの情報共有を行い、相互理解を図っています。 ・コロナ禍後もインフルエンザなどの感染症蔓延により、お互いの園の訪問が難しい場合があります。その場合は電話でのやりとりとなりますが、視覚的に伝えた方がよいことは写真に撮るなど見える形で伝えるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流保育については、今後も2園の保育園にご協力いただき継続していきたいと思えます。 ・併行利用児については、併行利用先や保護者の依頼により訪問を実施することはもちろんのこと、こちらからの積極的な情報共有を図り、困ったときに気軽に相談し合える関係性の構築を今後も図っていききたいと思います。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前は引き継ぎ書による情報提供を、卒園児全員の就学先(地域の小学校・特別支援学校小学部)に実施しています。引き継ぎ書は文書の他、視覚的に伝えた方がよいことは写真に撮り資料としています。また、保護者の同意を得て発達検査の結果を添付しています。 ・小学校からの依頼により、小学校職員による事前の行動観察を積極的に受け入れ情報共有に努めています。その際、作成した引き継ぎ書を用いて説明をさせていただいています。 ・入学後は継続した支援が図れるよう、教育委員会と連携し、地域の小学校へのフォローアップ訪問(移行支援として行動観察とカンファレンス)を行っています。 	
(28～30は、センターのみ回答)				・大和市児童発達支援事業所連絡会を主催	

関係機関や保護者との連携	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の児童発達支援事業所と連携を図り、事業所の見学や情報共有、いっしょに学ぶなどの機会を設けています。 ・大和市発達支援連携連絡会を主催し、障害のあるこどもの関係機関との連携に努めています。 ・自閉症療育講座や地域生活支援公開講座を開催したり、地域全体の質の向上に努めています。 ・ご希望に応じて、児童発達支援センターの見学を受け入れています。 	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の経験年数や担当しているこどもの障がいや特性に応じてスキルアップのための外部研修に積極的に参加をしています。 ・現場経験や知識豊富な障がい福祉の専門家たちと連携し共同開発したプログラムを豊富に配信しているeラーニングを取り入れて研修を行っています。 ・事業所内に専門職がいるため助言を受けやすい環境にあります。また、臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師を講師とした勉強会を実施しています。 ・精神科検診などの際にカンファレンスなどをとおして助言を受けています。また、勉強会も実施しています。 	・eラーニングを取り入れていますが、うまく活用できていないことが課題となっています。職員の質の向上を図るため、引き続きうまく活用できるように検討していきたいと思えます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童部会の会長や事務局を担当し、地域の課題について検討しています。 ・大和市特別支援教育巡回相談チームに参加しています。 	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所が、児童発達支援センターとなります。地域の事業所等との連携については、児童部会、児童発達支援事業所連絡会、大和市特別支援教育巡回相談チームなどに参加し行っています。また、大和市発達支援連携連絡会をセンター業務として第1松風園で主催し、関係機関との連携に努め地域の課題などの把握に努めています。 ・地域の事業所等から依頼があった場合は、第1松風園の見学を受け入れ、必要に応じて課題についていっしょに考えさせていただいています。 ・地域の事業所等が困ったときに、相談したい、連携を取りたいと思っただけの児童発達支援センターになることが目標です。具体的な取り組みについて検討し、地域に情報提供していきたいと思えます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園と併行通園をしているお子さんは日頃から他のこどもと活動する機会があります。 ・近隣保育園2園のご協力により保育園の園児に来ていただく機会と、保育園に行き交流する機会を年間で設けています。 ・職員についてはご希望に応じて積極的に見学を受け入れる体制を整えています。 	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新入園児のご家族は週1日、2年目以降のご家族は月2回、親子通園日を設け、一緒に参加していただいています。その中でお子さんへの理解を深め、課題解決に向けた具体的な取り組みを実践していただく場としています。また家庭での様子や好きなことを聞き、共通理解に努めています。 ・親子通園時以外では、連絡帳や必要に応じて電話や面談で様子を伝え合い 共通理解に努めています。 	

34	<p>家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。</p>	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・通園のしおりに家族支援プログラムについて記載し明確にしています。 ・親子通園日に、職員がごどもに実際に関わっている様子を観察していただいたり、支援などについて確認しあったりしています。 ・行事などにご家族が参加できる機会をつくっています。 ・おうち支援、おしゃべり相談会、先輩ママ、先輩パパのおはなしを聞く会、教材づくりなどを実施し保護者の対応力の向上に努めています。 ・家族参観日を設け、父、祖父母など、日頃園に来ることが難しいご家族に来園していただく機会を設けています。 ・自閉症療育講座、地域生活支援公開講座などを実施しています。また、見逃し配信を行うなどの工夫をしています。 ・その他、様々な取り組みをとおして、お子さんの特性理解や学び方、関わり方へと繋がるよう家族支援を実施しています。 	
35	<p>運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。</p>	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・主に契約時に丁寧な説明を心掛けています。 ・契約時だけでなく、特に加算についての説明などは実態に応じて家族会で都度説明し、より明確に保護者に伝わるよう心掛けています。 	
36	<p>児童発達支援計画を作成する際には、ごどもや保護者の意思の尊重、ごどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、ごどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。</p>	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを事前に記入していただき、面談を実施することでご家族の意向を確認しています。 ・親子通園日にも確認しています。 ・ごどもの意向や強み、好きなことなどについては、日頃の行動観察やご家族からの情報提供、発達検査などから確認しています。 ・ごどもの将来の自立を考え、ひとりで行えることを増やすために、ごどもの強みを生かし、スモールステップで取り組めるよう、個別支援計画を作成しています。 	
37	<p>「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。</p>	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に、「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行う面談を年2～3回行い、同意を得ています。 	
38	<p>定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。</p>	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したいことがあるときにはいつでも面談を行えるようにしています。面談は担任だけでなく児童発達支援管理者(園長)や専門職とも行えることを保護者に周知しています。 ・新入園児のご家族は週1日、2年目以降のご家族は月2回、親子通園日を設け、必要な助言や支援を行っています。 ・連絡帳でのやり取りや自主登降園時にお会いしたとき、必要に応じて電話などでも助言や支援を行うように努めています。 ・必要に応じて、看護師や理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士・管理栄養士などに意見を聞き、助言や支援を生かしています。 ・個別相談、グループ相談(おしゃべり相談会)を実施しています。 ・個別相談では、タイミングよくご家族から発信していただけるように、相談記録表を作成し連絡帳に入れ、相談しやすい工夫をしています。 ・グループ相談(おしゃべり相談会)では、相談することで課題解決していく糸口が見つかる体験を重ねています。 ・幅広く子育ての悩みの相談に対応できるよう、卒園児の保護者を「先輩お母さん」「先輩お父さん」としてゲストにお招きして懇談会などを実施しています。 	

39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会（そよかぜ会）については役員が中心になり行っていますが、児童発達支援管理責任者が必要に応じてサポート(使用する部屋の確保など)ができるよう体制を整えています。 ・毎月1回、家族会を実施し園側からの情報提供や保護者からのご意見を伺う場としています。 ・家族会やグループ相談(おしゃべり相談会)の場面で保護者同士が交流する機会を設けています。また卒園児の保護者(先輩お母さんやお父さん)をゲストにお招きし、広い視野で子育てができるよう取り組んでいます。 ・きょうだい同士が交流するイベントや利用児やご家族と参加できる行事を実施しています。 	
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談については、相談援助が適切なタイミングで行われるよう、通園のしおりで周知し、説明もしています。 ・こどもからの相談があった場合については、一番身近な担任が迅速に対応しています。 ・保護者もこどもも、担任、看護師、児童発達支援管理責任者、専門職などが相談内容に応じ対応できる体制を整えています。 	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園だよりを発行しています。 ・HPギャラリーで活動の様子を不定期に発信しています。 ・クラス活動については、クラス毎に月間支援実施計画を発行しています。 ・行事については年度初めに年間予定表を発行し、詳細については月度おたよりを配布し月1回の家族会で説明しています。 ・会報は法人で年3回発行し、HPに掲載、保護者が昼食をとる研修室(和室)に掲示、配布などを行っています。 	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに掲載する情報(写真)について同意書をいただいています。 ・HPに掲載する写真や作品、外部で展示する作品など、個人が特定できないよう掲載の仕方を工夫し、保護者にも伝えていきます。 ・個人情報は鍵付きのキャビネットで保管しています。 ・不要になった個人情報の資料はシュレッダーでの処分や溶解処理をしています。 	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合ったコミュニケーションツールで意思疎通が図れるよう支援しています。 ・視覚支援など、必要に応じて配慮を行い支援をしています。 ・外国籍の保護者への情報伝達について、アプリなどの翻訳機能を活用しています。最近では保護者がスマートフォンを使用し、配布したお便りを翻訳する場面も多く見られるようになってきたため、あえてお便りにはルビを振らないよう配慮しています。 ・ルビ付きのお便りをご希望される保護者への対応も行うことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の保護者への情報伝達については、翻訳機能を活用して行わせていただき、意思疎通についても、翻訳機能で対応していますが、課題も多いです。面談などは保護者が通訳を依頼し実施する場合もありますが、費用も保護者負担になっており課題があります。

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・松風園まつりを実施し、地域の方々にも多数ご参加いただいております。今後も毎年、開催していく予定です。 ・クリスマスに地域の商業施設のご厚意によりサンタクロースが来園しこどもたちに直接プレゼントをお渡しくださいました。また、一部活動にも参加してくださいました。 ・大和中ロータリークラブのご厚意により、映画鑑賞会を行ってくださいました。 ・地域の民生委員、児童委員がふれ愛のつどいを行ってくださいました。 	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルを策定し、施設内に設置、掲示しています。また、一部通園のしおりなどに記載し保護者に周知しています。 	・マニュアルの保管場所の周知徹底が課題となっているため改善していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画(BCP)を策定しています。 ・毎月、担任、こども、親子通園日にあたった保護者と避難訓練を実施しています。保護者には消火訓練にも参加していただいています。 ・バス乗車中の災害や事故に備えた訓練を職員と運転士で実施しています。 ・ジャクエツメールにて緊急時の対応に備えています。 ・災害伝言ダイヤルや119番通報の練習を実施しています。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前のアセスメント及び入園後も継続して看護師が一人ひとりのこどもの状況について確認しています。 	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書を必ず提出していただき、園で保管しています。 ・医師の指示書に基づいて看護師、担任、栄養士、調理師が対応し適切な給食(代替食)を提供しています。 ・献立表は食物アレルギー対応のものを作成し、代替食についても詳しく掲載しています。それをもとに毎月保護者に材料をチェックしていただいています。 ・毎朝担任が特別食カードを提出し、食物アレルギー用の給食は、配膳用のワゴンに載せず、担任が給食室に取りに行き、調理担当職員から直接受け取るようにしています。 ・食物アレルギー用の給食は、トレイを色わけし、間違いがないよう明確にしています。配膳の際も職員同士でダブルチェックをしています。さらに誰の給食かわかるように、トレイに名前を置くようにしています。 ・毎月、食物アレルギー会議を実施し献立や提供の仕方などについて確認、検討しています。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの安全を確保するための取り組み計画を立て訓練を実施しています。 ・月に1回安全衛生委員会を実施し、安全管理に配慮して支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、課題や改善点を見つけ、こどもの安全を確保するための取り組み計画をより良いものにしていくこと、また、研修や訓練の充実を図ることが目標です。 ・非常勤職員への周知徹底、研修や訓練の参加が課題のため、改善していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会でご家族に周知しています。 	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの打ち合わせで報告しあい、再発防止策を職員間で共有したり、アドバイスをもらったりしています。 ・報告書を作成し原因や再発防止策を確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの打ち合わせで報告した内容をノートに記載し、打ち合わせに出ることができない職員は確認するようになっていますが、非常勤職員は勤務時間の関係で難しく課題になっています。また、ノートだけでは細かい情報がわからないこども課題となっているため、時間の確保や書類の閲覧方法を改善していきます。 	

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体研修や事業所内研修を実施しています。 ・事業所内に虐待防止委員会が設置されており、研修を行っています。また、職員に不適切ケアの芽チェックリストを行っています。 ・保護者に職員が子どもを呼ぶときの呼び方について書面で確認しています。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束適正化検討委員会が設置されています。 ・身体拘束を認める3要件(切迫性、非代替性、一時性)にあてはまるかを十分判断した上で事前にご家族に相談、確認し同意を得た上で実施することとしています。 ・身体拘束や行動制限するものと捉えられる事項については、適切な会議を行い個別支援計画に記載し保護者に同意を得たうえで実施し、記録もしています。 	